

県内百貨店・主要小売店10月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	6.3		0.2
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	4.4	1.6	▲1.4
Vドラッグ	4.4	2.4	0.2
ホームセンターバロー	6.0	3.1	▲2.5
セリア	3.1	▲1.2	▲0.9
ヒマラヤ	▲0.8	▲0.2	▲3.4

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品など3社の合計。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計



県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の10月上高実績(速報値、小売店は全店売上高)は、6社のうち5社が前年同月上回った。岐阜高島屋は北海道展が前年を上回った。旅行需要の回復に伴い衣料品が持ち直しており、特に婦人用の衣料品や旅行用品が好調だった。セリアは旅行関連グッズやメイク用品が好調で、パーティーグッズも売れた。コロナ禍による巣ごもり需要の反動

10月の百貨店 小売店売上高 5社が前年上回る

減の収まりが見られ、担当者は「コロナ禍前に戻りつつあるようだ」と分析する。バローは月初めのイベントが奏功して堅調。Vドラッグは医療品、化粧品関連が好調で、食品では日配品が安定していた。ホームセンターバローは天候にも恵まれ、園芸関連が好調だったが、全体では節約志向が見られ、買い控えの傾向が続いている。ヒマラヤは本館を含め大型店の改装が重なって、微減となった。一般スポーツは回復が顕著だった。暖かい日が続いたことで、例年よりも衣替えの需要が伸び悩んだ。